

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

●リモコン刈払い機「RATOR100 (PRINOTH社)」見学会を開催しました

11月29日に加茂郡七宗町地内の国有林をお借りし、リモコン刈払い機の実演見学会を開催しました。

今回の刈払い機は、ドイツ製の機械で車両の幅は1,650mm（うち刃の幅1,450mm）、登坂能力は縦・横方向共に45°で、クローラの左右を上下させることによりバランスをとる構造です。操作方法は、リモコンのみでの仕様となっています。

また、刈払いは主に灌木の処理を想定した仕様となっており、直径7センチ程度までであれば、押し倒しながら処理することが可能とのことでした。

実演の現地では、直径30cm程度の伐根もありましたが難なく破碎処理をすることができました。

参加者から登坂能力の質問でた際に、50°程度の斜面を走行させる実験をしましたが、途中でクローラが空転し限界点を見ることができました。また、販売価格は近年の資材高騰や為替の影響により重機1台分くらいとのことでした。国内での販売実績は1台。

今後も最新機械等の見学会を企画しますので多数のご参加をお願いします。



● リモートセンシング技術を活用した広葉樹資源量調査見学会を開催しました

令和5年12月5日に、昨年度からヤマハ発動機(株)の協力をいただき取り組んでいる広葉樹資源量調査の見学会を高山市清見町地内にて開催しました。

ヤマハ発動機(株)で運用されている森林計測サービス事業の一環で、針葉樹林における資源調査は進んでいますが、広葉樹はまだまだ開発途上であり、ヤマハの調査チームでも精度の高い計測方法を模索している段階です。現状の無人ヘリを活用した森林計測の状況や解析データの一部を見学していただきました。

ヤマハ発動機(株)担当者より、森林計測サービスの概要や無人ヘリの構造などを説明していただいたのち、無人ヘリの飛行実演を見学しました。また、取得したデータの一部をPCで見ていただき、飛行条件や画像解析、今後の可能性などについて参加者と意見を交換しました。



● GNSS森林測量の勉強会を開催しました

揖斐郡森林組合から本年度GNSS測量機器を導入し測量の省力化に取り組んでいるが、容易に機器の操作や計測ができることもあり、操作が自己流となってしまうている。そこで、GNSSの基礎を学びたいという申し出があったことから今回勉強会を開催しました。

森林組合職員を対象とした勉強会ということもあり、実際に業務において活用するうえでの注意点や具体的な運用について学ぶことができました。

今回のような少人数での勉強会も開催しますので、ご希望がありましたら事務局までご相談ください。



コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp